



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

# みしよ

No. 372

令和8年3月25日(水)発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141



## 心はいつも春風に 誉の旗をひるがえせ

校長 後藤 正美

「私たちが1年の時から、いつもやさしくて笑顔でとてもすてきな6年生にあこがれます。」

「全校を支えてくれて今までありがとうございました。ピース学年のカッコいい姿が私のあこがれです。」

職員玄関は、ピース学年への感謝のメッセージで満開になっています(写真左)。上記2つのメッセージには、「あこがれ」という言葉が入っています。ここに、私は見小のよさであり伝統を感じるのです。

小学校の六年間には、様々なことがあります。時には友達関係で悩み、時には学習につまずき、学校から距離を置きたいという気持ちになることもあるでしょう。ピース学年も、順風満帆だったわけではありません。それでも、後輩たちは6年生の姿を見ていました。「全力を出し切る姿は恰好いい」という運動会での姿。結果として奇跡の応援同点優勝という調和を見せたのもピースらしさでした。「平和・友好」の穏やかな心で、見小っ子の学校生活を見守ったからこそ、リーダーへの憧れの心が芽生えるのでしょう。今年も、「見小魂」をもった卒業生を見送ることができ、誇らしく思います。

こうした見附校の伝統をつなぐのは、1～5年生です。自分のよさをひたすらに磨き、153年目を迎える「みんなの見附小」の新たな伝統を創っていきましょう。

見小っ子を温かなパワーで包む「たいよう」  
見小っ子の笑顔を輪でつなぐ「スマイル」  
色鮮やかに一人一人が輝く「カラフル」  
力強くまっすぐに伸びていく「ひまわり」  
見小の無限に広がる輝きを担う「スター」



最後に、今回のタイトルは卒業式の式辞において、毎年卒業生へ贈ってきた言葉です。私の大好きな言葉です。春風のようなやわらぎの心で、見附校で学んだ自信という「誉の旗」を堂々と掲げながら、誰もが豊かな人生を歩んでほしいという願いを込めました。紙面をお借りして、保護者の皆様、地域の皆様へ御礼申し上げますとともに、「学校便り みしよ」をご愛読いただきまして、誠にありがとうございました。

見附小学校は最高です！！